



新着図書案内

2012年10月号

倉吉東高等学校図書館

哲学

哲学ディベート 〈倫理〉を〈論理〉する 高橋昌一郎
高校倫理からの哲学4 自由とは 直江清隆、越智貢
暇と退屈の倫理学 國分功一郎
感性の限界 不合理性・不自由性・不条理性 高橋昌一郎
ソクラテスの弁明 プラトン
孤独な散歩者の夢想 ルソー
絵本・小さいことにくよくよするな！ リチャード・カールソン
近代日本人の宗教意識 山折哲雄

歴史・地理

NHKさかのぼり日本史 外交編1 (戦後) 井上寿一
NHKさかのぼり日本史 外交編2 (昭和) 服部龍二
ビジュアル世界史1000人 上巻・下巻 世界文化社

社会科学

地域再生 逆境から生まれる新たな試み 香坂玲
勝てないアメリカ 「対テロ戦争」の日常 大治朋子
自由とは何か 監視社会と「個人」の消滅 大屋雄裕
何のための秘密保全法か 海渡雄一、前田哲男
災害支援に女性の視点を！ 竹信三恵子、赤石千衣子
自己変容という物語 生成・贈与・教育 矢野智司
贈答の日本文化 伊藤幹治
贈答の歴史学 儀礼と経済のあいだ 桜井英治
贈与論 マルセル・モース

自然科学

知識ゼロからの科学史入門 池内了
「科学的思考」のレッスン 戸田山和久
野生の科学 中沢新一

はじまりの数学 野崎昭弘
「超」入門微積分 神永正博
「シュレーディンガーの猫」のパラドックスが解けた！ 古澤明
ロウソクの科学 ファラデー
完全図解周期表 ニュートンプレス
重金属のはなし 鉄、水銀、レアメタル 渡邊泉
137億年の物語 クリストファー・ロイド
咳の気になる人が読む本 加藤治文、福島茂

技術・家庭

構造炎 科学技術社会に潜む危機 松本三和夫
川と国土の危機 水害と社会 高橋裕
人間の自然認知特性とコモنزの悲劇 動物行動学から見た環境教育 小林朋道

産業

農業・食糧問題入門 田代洋一

芸術・スポーツ

日本美術を見る眼 高階秀爾
新編・第三の眼 港千尋
芸術回帰論 イメージは世界をつなぐ 港千尋
ブッダ 1～12 手塚治虫
書く 言葉・文字・書 石川九楊
失われた書を求めて 石川九楊
「書」で解く日本文化 石川九楊
写真の撮り方ハンドブック 河野鉄平
原研哉のデザイン 原研哉
武満徹自らを語る 武満徹
矢沢永吉激論集 成りあがり 矢沢永吉
ダンス・クリティーク 尼ヶ崎彬
基本が身につくハンドボール練習メニュー200 酒巻清治

言語

百年前の日本語 今野真二

文学

ラブ・ケミストリー 喜多喜久
ラブ・リプレイ 喜多喜久

サエズリ図書館のワルツさん 1 紅玉いづき 柴村仁
雛鳥トートロジィ 柚木麻子
早稲女、女、男 岡 潔
春宵十話 中沢新一
純粋な自然の贈与 万城目学
ザ・万歩計 万城目学
ザ・万遊記 万城目学
ファージョン自伝 わたしの子供時代 エリナー・ファージョン
ねじの回転 ジェイムズ
ムギと王さま エリナー・ファージョン
天国を出ていく エリナー・ファージョン
リンゴ畑のマーティン・ピピン 上・下 エリナー・ファージョン

進路・小論文関連資料

受験脳の作り方 脳科学で考える効率的学習法 池谷裕二
だからおまえは落ちるんだ、やれ！ 吉野敬介
京都大学 by AERA 朝日新聞出版
論文の教室 レポートから卒論まで 戸田山和久

郷土資料（鳥取県関連の本）

植田正治の世界 平凡社

鴨水文庫

（東高の卒業生の著作を集めたコーナー）

「もじゃぺー」に〈しつけ〉を学ぶ 山名淳
今回新しく入った本は、昭和57年（第33回）卒業の山名淳さんの著作です。



★10月27日～11月9日は読書週間です★

終戦の2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られました。現在のように10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）になったのは、第2回からです。それから60年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなることを願っています。（社団法人読書推進運動協議会ホームページより）